

参加により期待できる変化

- 所属大学の学生の学習状況やニーズ、実施されている学習支援の特徴と課題を整理し、適切な提案ができるようになります。
- 所属大学で実施されている学習支援を向上させるための改善案を作成し、実行できるようになります。
- 学習支援担当者のネットワークが広がります。

本研修会の到達目標

- (1) 学習支援とその意義を説明できる。
- (2) 学習課題の解決に向けた支援の方法について説明できる。
- (3) 所属大学の学生の学習課題について解決方法を提案できる。
- (4) 学習支援に関わる多様な考え方や実践事例を尊重し、共に学び合う雰囲気貢献する。

参加申し込み

お申込み

<https://www.jaedweb.org/dev1>

問合せ
メールアドレス

info@jaedweb.org

参加費

1人 20,000円

振込先

三井住友銀行 兵庫支店 普通 7758395
カマヒトセイヨウシクミデザインカンキョウ

参加費
内訳

テキスト / 当日資料印刷・製本費 / 昼食
/ 当日研修費用

※清水栄子・中井俊樹編（2022）『大学の
学習支援 Q&A』（玉川大学出版部）を
参加者に配付いたします。



第 1 回

学習支援担当者研修会

受講証
発行

～学生の学習課題を改善する方法を考える～

学生の学習に対するニーズや課題は多様化しており、その課題にそった支援の提供が求められています。本研修では貴学の学生の課題に沿った学習支援方法を模索し、その改善を考えます。学生の学習について課題を感じ、その解決に向けた支援を模索している全教職員を対象としています。

- 開催日程 2025年 2月 6日木曜日 10:30～17:20（受付開始10:10）
2025年 2月 7日金曜日 10:10～17:00

- 場 所 キャンパスポート大阪
大阪市北区梅田1-2-2-400 大阪駅前第2ビル4階

- 対象者 大学教職員 **定員 30名**

事前課題があります。
詳しくは内面をご参照下さい。
研修会全日程を受講の方に受講証を発行します。

【主催】日本高等教育開発協会

【共催】教職員能力開発拠点（愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室）

株式会社学びと成長しくみデザイン研究所

多様な学生を受け入れている大学では、学習者本位の教育の提供とともに、その質の保証が求められています。学生の学びを充実させるためには、正課教育だけでなく、正課外活動も視野に入れたきめ細やかな支援が必要とされています。そのためには、教育を担当する教員とともに職員も参画した学習支援の重要性が高まっています。

本研修会では、学習支援に関する理論と実践を学び、所属大学における学生の学習課題の解決に向けた改善策を作成します。講義だけでなく、参加者同士や講師との議論を通して学ぶことで理解を深めていきます。

学生の課題に沿った支援方法の検討、学習支援に関する課題の解決、学習支援の組織的な運営をお考えのみなさまのお申し込みをお待ちしております。

このような方が対象です

- 学習支援を担当している教職員（クラス担任、ゼミ担当教員を含む）
- 学務系職員
- 学習支援部門の組織的運営に携わる管理職

日本高等教育開発協会（JAED）

Web: <https://www.jaedweb.org> お問い合わせ先: info@jaedweb.org

事前課題

テキスト『大学の学習支援Q&A』を踏まえ、以下の課題についてわかる範囲でワークシートの該当箇所に記入してください。

1) 所属大学について(1)学生の特徴(2)提供されている学習支援の①名称、②目的、③対象(学部や学年、全学的か特定の授業の受講生かなど)、④支援の概要、⑤評価方法(支援の効果や成果をどのように測っているか)、⑥担当部署

2) 現時点で認識している課題や改善したいと考えている点

講師



清水栄子

日本高等教育開発協会 正会員
愛媛大学 准教授



多田泰紘

日本高等教育開発協会 正会員
京都橘大学 講師



岸岡洋介

京都外国語大学 准教授

プログラム

研修1日目 ◆ 2月6日木曜日

<オープニング>

10:30

オリエンテーション・参加者自己紹介

2日間の研修に関するオリエンテーションおよび参加者による自己紹介を行います。

11:00

学習支援が求められる背景と意義

大学においてどのような学習支援が必要とされているのか、またなぜ学習支援が求められているのかを理解します。

ランチタイム <12:00-13:00>

13:00

学生の課題に応じた支援

学習支援において学生の課題を把握し、その課題に対応することが重要となります。まず、よくある学生の課題を理解することから始めます。次に、所属大学の学生の課題を把握し、適切に対応する方法を学びます。

<グループワーク>

14:10

所属大学における学習支援の課題の共有とフィードバック

事前課題に基づき、所属大学における学習支援の課題についてグループ内で共有し、解決策を考えます。

15:20

学習支援のさまざまな方法

学習支援にはさまざまな方法があり、学生の特性や大学の目標に応じて適切な支援を選択することが重要です。ここでは、代表的な学習支援方法とその特徴について学びながら、所属大学の目標や学生の状況に適した支援方法を検討するヒントを提供します。

<全体>

16:30

学習支援の実践上の課題共有

学習支援を企画・運営するうえでの課題や改善したいこと(事前課題2)の内容)を全体で共有します。また、2日目の学習支援の設計、改善提案に向けて、解決すべきポイントを整理・抽出します。

研修2日目 ◆ 2月7日金曜日

前日のふりかえり

前日の内容を振り返ります。その後2日目のスケジュールを確認します。

10:10

10:20

学生相互による学習支援の事例紹介

学生相互による支援を促し、さらにそれを学生チームとして機能させるためには、後方支援をする教職員の学生との関わり方や環境整備も大きな課題となるでしょう。ここでは、大学のゼミ運営や、課外活動において学生相互による成長支援活動を行っている事例から学びます。

11:10

学習支援組織の運営

学習支援は、大学内の部局や各教職員が協働することでより効果を発揮します。具体的な学習支援の設計、改善を考える前に、学習支援組織の運営について理解を深めます。

ランチタイム <12:10-13:10>

<個人ワーク>

13:10

所属大学における学習支援の設計・改善提案

所属大学における学生の学習課題の解決に向けた改善策や新たな学習支援の設計提案を作成します。

<グループワーク>

14:50

所属大学の学習支援の設計・改善提案の発表・相互フィードバック

作成した改善策や設計提案について参加者と共有し、実現へ向けたフィードバックを行います。

<クロージング>

16:30

よりよい学習支援を展開するために(全体のふりかえり)

2日間の全体のふりかえりと研修のまとめを行います。